

2020年春にJR常磐線佐貫駅の駅名が「龍ヶ崎市駅」に変わることにあわせて、佐貫駅や常磐線の歴史を振り返る連載コラムを掲載。第3回は駅の橋上化についてです。

昭和50年代後半からはじまった龍ヶ崎ニュータウン開発、そして、昭和60年のつくば科学万博をきっかけに、佐貫駅を取り巻く環境は大きく変わりつつありました。

橋上化される前の佐貫駅

現在の姿になる前の佐貫駅は、改札が地上にある駅だったのをご存じですか。当時の駅舎は明治28年に建てられたもので、昭和50年代後半頃まで東口ロータリーはなく、関東鉄道竜ヶ崎線佐貫駅が併設されていました。また、竜ヶ崎線とは線路が接続され、貨物輸送も行われていました。

▶橋上化前の佐貫駅



昭和60年、佐貫駅東口・西口を結ぶ橋上化

佐貫駅の橋上化が完成したのは、つくば科学万博が行われる直前の昭和60年3月。これにより、地上2階に改札が設置され、東口と国道6号線側の西口が連絡通路で結ばれました。ロータリーも設置され、駅利用者の利便性が高まりました。その後も、屋根やタクシールールの設置、関東鉄道竜ヶ崎線佐貫駅の駅舎改修などを経て、現在の姿になっています。



▲昭和60年頃の佐貫駅



▲今の佐貫駅

あなたのまちのシルバー人材センターをご利用ください

■問い合わせ：龍ヶ崎市シルバー人材センター ☎ 64-3641 / 🌐 <http://www.rsjc.sakura.ne.jp>

■会員480人が健康で生き生きと地域に貢献しています

シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、市町村ごとに設置されている公共的な非営利団体です。会員は「自主・自立・共働・共助」の理念のもとに、体力・能力・希望に応じて就業しています。シルバー人材センターは、高齢者が地域で働くことを通じて、活力ある高齢社会、地域社会づくりに貢献するとともに、高齢者が健康で生きがいのある生活ができることを目指しています。

■その仕事、シルバーにお任せください

下記の他にもさまざまな業務行っています。お気軽にお電話ください。内容によっては時期により大変混み合う場合があります。

- 掃除、洗濯など家事援助全般
- 剪定、除草など庭のお手入れ
- 障子、ふすま、網戸の張り替え
- 店舗、事業所内の軽作業
- 農作業、大工仕事（簡易なもの）
- 宛名書き、賞状書き

■あなたの入会をお待ちしています

市内に居住する健康で働く意欲のある60歳以上の方なら、「会員入会説明会」に出席し理事会の承認を経て、会員になることができます。入会希望の方は、毎月第2・4木曜日開催の事前予約制「会員入会説明会」に出席してください。その他、「休日入会説明会」「女性限定入会説明会（写真）」も開催しますのでお問い合わせください。あなたの豊富な知識・経験・技能を、ぜひ生かしてください。



■会員の連携が組織強化の原動力

センターでは、就業以外で会員同士が交流できる活動を促進し、連帯意識を高めています。7月には「女性会員交流会」を開催し、浴衣を着て盆踊りを楽しみました。ゴルフ会や旅行会、ウォーキング会などのサークル活動も活発に行われ、健康維持とともに会員同士の親睦も深められています。また、市内全地域に地域班を設置しました。昨年度は班ごとに懇親会を開き、会員同士の連携強化の機会となっています。